

私の恋愛観

・初めに

私はどこにでもいる普通の学生です。私は中学時代から今に至るまでたくさんの恋愛をしました。その時にあった経験や出来事を書いていきたいと思います。誰でも恋愛をしたことがあると思います。自分の経験と照らし合わせて、「あんなことがあったな」など思い出してもらえたら嬉しいです。

私がなぜ記事を書きたいと思ったかという、一度文にして書くことで思い出を残すことができるのと、経験を人に伝える力を磨きたいと思いました。

・1章 中学1年生の初恋

私の初恋は中学1年生の時でした。

その時のお相手は一つ上の先輩でした。とても明るい性格で、いつもクラスの中でみんなを笑わせてくれる様な存在の人でした。元々私は口数が少なく、静かな学生でした。そんな私ですが、いつも明るいその彼女を意識するようになっていました。彼女は誰にでも分け隔てなく接してくれて、先輩、後輩関係なく優しい人でした。その子の親戚の子と私は友達だったので、何度か一緒に遊ぶ機会がありました。その時、鬼ごっこをするのが恒例でした。鬼ごっこでは必ず相手にタッチをしなければならないため、少し緊張していました。しかしその子はいつも優しくしてくれました。2人きりで話すこともありました。

本格的に彼女のことを『好き』だと実感したのは、校内運動会の時でした。私は運動会でリレーに選ばれました。長距離が得意だった私は走るのが得意と一括りにされ、短距離が得意ではなかった私は最初とても嫌でした。『馬鹿にされる』『失望される』など、どんどんネガティブな考えになっていました。好きな彼女が見ている前でダサい姿を見せるのは本当に辛かったです。

このままではダメだと思い、私は何度も走る練習をしました。そして当日、私はとても緊張していました。よく彼女とは話していた私は、当日もその彼女と話すことができました。私がリレーに出ることを知っていた彼女は、私に何かを言いたそうにしていました。私は、「どうせからかうんだろうな」と思いました。しかし彼女の口から言われた言葉は「応援してる！順位なんて関係ないから思いっきり走ってきな。」と言われました。予想もしていなかった彼女の言葉に最初驚きました。しかしその言葉は私の背中を押してくれました。走ることが苦手だった私は、その時自信を持ってバトンが来るのを待っていました。

付き合っていないくても、好きな相手からの言葉は大きな力に変わるんだと実感しました。そして、今でもその言葉は心に残っています。

・ 2章 失恋その先に

運動会が終わって丁度夏が終わる時、私は彼女に初めて告白をしました。結果は振られてしまいました。振られた理由は、その彼女には好きな先輩がいました。その先輩は生徒会長でした。私より顔が整っていて、頭もよく、性格もいいお手本の様な人でした。そのとき私は「無理だ」と完全に自分の気持ちを遮断していました。その日から彼女を見ることができなくなり、気まづくなってしまうしました。初恋だったために、振られたことに対するダメージはとても大きく、立ち直るのに時間がかかりました。この期間はとても辛かったです。

私はたくさんのことを考えました。「もし同じ年齢だったら結果は変わっていたんじゃないか。」「告白するのが早すぎたんじゃないか。」しかしもう遅かったです。

相談に乗ってくれる友達がたくさんいました。中には「もっと良い人がいるから諦めなよ」という友達もいました。しかし私は諦めることができませんでした。とても一途だった私は常に彼女のことを考えていました。結局諦めることができなかった私は、1年生が終わる時にもう一度告白をしました。それは、部活動が終わってすぐの時でした。しかし、同じ様に振られてしまいました。予想はしていました。しかし2度目も同様に辛かったです。その時から自分の欠点を探す様になりました。なぜなら、自分に欠点があるからこそ振られるのであって、完璧な人間なら付き合えたんじゃないかと思ったからです。

私は今振り返ると、とても大切な経験だったなと思います。彼女のおかげで恋愛の辛さや難しさを知り、自分を見直すきっかけを作ってくれたのも彼女です。自分が一途で、重いということも自覚しました。重い彼氏はあまり好かれていないため、直す必要があると思いました。

・ 3章 新たな恋

中学2年になる時にその彼女を忘れるためという理由もあったからか、新しい女の子を好きになりました。その子は同級生で同じクラスの女の子でした。前の彼女と性格が似ていました。特に誰にでも優しいところと、周りを楽しませる様な性格でした。その女の子を好きになったきっかけは、駅伝練習の時でした。私は短距離は苦手でしたが、長距離が得意だったため駅伝選手として選ばれていました。その女の子も選ばれていたので話す機会が多かったです。最初はゲーム感覚で、飲み物を奢ったり奢られたりと遊んでいました。

2年生の夏に思い切って女の子に告白しました。女の子から帰ってきた言葉を聞いた私はとても嬉しくなりました。恋をしてから2回目にしてやっと彼女ができました。私の学校では8月に修学旅行があります。旅行先は東京とディズニーでした。18年間の中でトップに入るくらいの楽しい思い出です。劇場を一緒に見たり、ディズニーに二人で行ったりしました。

2年生の冬に私は突然先輩から呼び出されました。不思議に思いながらそこへ行くと、私の初恋だった一つ上の先輩でした。なにを言われるか正直怖かったです。しかし、実際は彼女からの告白でした。私はやっとこの先輩のことを忘れることができたと思っていたので、

当惑してしまいました。でも、もう心に決めていたので迷うことはありませんでした。私からの答えは「ごめんなさい」だけでした。もし一年早ければ付き合っていたかもしれません。

私は今の彼女との恋愛がずっと続くものだと思っていました。なぜなら3年間続いている友達がいたからです。しかし、現実を見ました。それは2年生と3年生に変わる時期のことでした。お互いの意見が合わなかったため、喧嘩をすることが多々ありました。友達に相談をしても自分の気持ちがすっきりするだけで、お互いの気持ちが交差したままでした。その時は本当に辛かったです。これも恋愛なのかなと思いました。

お互いの関係に耐えれなくなった私は別れることを決断しました。初めてのことだったのでどうしたら良いのかわからず、仲直りして仲が良かった時に戻りたいと常に考えていました。しかし、悪化する一方で別れるしかないと思いました。彼女に別れを告げることは辛かったです。しかし、何か心の中の風船が割れた様にすっきりした自分がいました。

・ 4章 別れからの気づき

一途だった私は、初めての彼女だったこともあり簡単に諦めることができませんでした。いつも彼女のことを考えて「このまま卒業するのかな」と悲しくなりました。その想いが伝わったのか、彼女も私のことを気にしてくれていました。徐々に話す回数を増やしていき、お互いの気持ちを理解することだけを考えて接していました。他の友達と一緒に混ざって遊んだり、学校でもたくさん話しました。

私は関わっていくうちにあることに気づきました。それは、付き合わなくても幸せだと。今までは付き合っただけで彼女にすることが幸せだと思っていた私は、付き合わなくても毎日が楽しく、充実していることに気づきました。そして、相手も同じ考えだったらしく『付き合い合わない関係』というものが生まれました。俗にいう友達以上恋人未満の関係になっていました。お互いそれで満足していました。その関係はとても楽しく、互いを縛らずに接することができました。

友達以上恋人未満の関係は長く続くはずもなく、中学3年が終わる頃にはお互い気を意識しないで生活する様になっていました。

・ 5章 高校生活の新たな始まり

高校1年になった私は、その彼女とは違う進路になってしまい、曖昧な関係のままになってしまいました。友達以上恋人未満の関係は、ただの自己満足で、どちらかに恋人ができるまでの保留期間だったんだなと思いました。すごく後悔しました。もしあの時に戻れたらしっかり向き合って仲直りをしたいと思いました。後悔しても過去に戻ることはできないので、前へ進もうと思いました。

高校生になってから、夏ぐらいに私には好きな人ができました。その子は女子サッカー部でした。私は中学のときにサッカー部に所属していたため、高校でも継続してサッカー部に入部しました。話私の学校では男子サッカー部のすぐ隣で女子サッカー部が部活をしてい

たので、関わる機会がたくさんありました。最初はその女の子のことを気に留めてもいませんでした。しかし、すれ違ったり話す機会が増えるたびに彼女を気になっていました。彼女はとても優しく、静かな女の子で、今までの彼女とは真逆の性格でした。よく、「タイプはどんな人？」という質問をしてくる人がいると思いますが、私は「これだ！」と思う様な解答はできないと考えています。なぜなら、人それぞれ個性があって、自分とは合わなかったり、「絶対好きにならないだろうな」と思う様な人でも、環境やタイミング、自分にしか見せない相手の行動などを感じ取ると自然と意識してしまうからです。これは本当に不思議で面白いと思います。性格がいいということは変わりありませんが、タイプは変わります。恋愛は楽しさや辛さだけでなく、自分の意外なところを知ることができると思いました。

私が高校1年生の時に経験した出来事で1番の思い出は、その彼女と花火大会に行ったことです。お互い浴衣を着て見た花火は経験したことがないくらい綺麗でした。毎年家族と行っていたのですが、彼女と行くのはまた違ってとても良かったです。私の住んでいる街では毎年花火大会が開かれています。なので、来年も絶対行こうと二人で約束しました。

・ 6章 絆を深めようと

高校2年生になった私は、高校生活で部活が一番忙しい時期でした。お互い忙しかったこともあり、遊びに行くことが少なくなっていました。話す機会も減ってしまいました。しかしお互いあまりそのことに対して気にしていませんでした。最初は自然消滅してしまうかと思いました。私はこのままでは同じことの繰り返しだと思ったので、なにかいい方法はないかといつも考えていました。そこで出た答えが、1週間に一回以上お互いの時間を作るという提案でした。最初は慣れませんでした。が、だんだんお互いを見直すようになり、以前よりもお互いに優しくなれたと思います。

私の学校では2年生の秋に修学旅行があります。旅行先は大阪でした。1日目は道頓堀へいきました。誰とでも自由に行動してよかったため、私は彼女と一緒に行動することにしました。たこ焼きハシゴをしたり、お好み焼き、ラーメンなどいろいろなものを食べました。とても美味しかったです。でも楽しさの方が大きかったです。海遊館にもいきました。私の住んでいる県は海がないので、水族館に一度も行ったことがありませんでした。初めての水族館で、とてもワクワクしていました。見たことのない魚がたくさんいておもしろかったです。また、初めての水族館に好きな人と行けたので嬉しかったです。水族館は大人になったらあまり行く機会がないと思うので、行けて良かったです。

2日目には USJ へ行きました。ディズニーは毎年行ってましたが、USJ は遠いため一度も行ったことがありませんでした。とても雰囲気がよく、USJ には USJ のいいところがたくさん詰まっていました。USJ も彼女と回りましたが、とても楽しかったです。私も彼女もジェットコースターが好きだったのでたくさん回りました。特にフライングダイナソーとバックドラフトは楽しかったです。宿はホテルユニバーサルポートに宿泊しました。せっか

くの修学旅行なので、何か思い出を作りたいと思いました。10時が消灯だったのですが、ただ寝るだけはずまらないと思い、彼女と二人で抜け出しました。とてもスリルがあっただきどきしました。すこしの時間しか話すことはできませんでしたが、会うことができただけで大切な思い出になりました。

3日目は新世界に行きました、歴史のある街並みを体感することができました。おいしい食べものがたくさんあり、また行きたいと思いました。お土産屋さんがたくさんあり、お互いにお土産を買ってあげました。

3日間という短い修学旅行でしたが、様々な経験ができました。彼女との思い出も作ることができ、お互いの距離も以前より縮まったのかなと思いました。

・7章 進学への葛藤

高校3年生になった私は、大学進学を希望していました。そして彼女も同じでした。大学はそれぞれ違う道になるので、当然遠距離も覚悟しています。彼女は地元の退学に進学したいと言っていました。私は東京に行きたいと考えていたため、すこし悲しくなりました。でも、恋愛は最優先のことではないと思います。まずは自分の夢を叶えるために行動して、その次に恋愛があると私は思います。受験勉強で関わる機会が減ると思っていましたが、彼女はいつも勉強に誘ってくれました。話す時は話して、集中する時はしっかり勉強して、勉強でさえ充実してる様に感じました。

私は今の彼女とは長続きすると思います。なぜなら、たくさんの困難を二人で乗り越えることができたからです。挫けそうになったこともありました。しかし、彼女の言葉や存在がやる気へと繋がりました。よく、部活や勉強に集中するために恋愛を捨てる人を見かけますが、「思いを馳せる相手がいるからこそ努力や活気へと繋がる」という考えも大切だと思いました。彼女に何度も助けられました。

3年生の最後の12月。クリスマスで一緒に過ごしました。今までクリスマスは家族と一緒にいたので初めての体験でしたがとても楽しかったです。お菓子を食べたり、歌ったり映画を見て楽しみました。また、その日は彼女の家泊まることができたので今までで一番楽しかったです。もちろんオールでずっと話したりTVを見てました。私は一緒にいるうちに、「こんなに長くいられるのもことしだけか」と悲しくなりました。来年はお互い大学生活で忙しくなるのと、遠距離になるのであまり会えないからです。楽しさと同時に、悲しさがこみ上げてきました。それは彼女も同じでした。

・8章 将来のこと

私の夢はパイロットです。将来アメリカに留学したいと思っています。

なぜアメリカ留学をしたいかというと、彼女が英語教師になるためにアメリカへ行きたいと思っているからです。私はもともと留学を考えていましたが、どこの国かは決めていませんでした。そこで彼女と一緒に今以上に頑張れると考えました。恋愛を優先するべきだ

と思いますが、本当に愛し合っているならお互いが夢を追った後でも遅くないと私は思います。私は必ずパイロットになるという夢を叶えて、彼女を幸せにしたいと思います。パイロットになるのは簡単ではないと思います。彼女がいてくれるので頑張ることができると思っています。

彼女の夢も、英語教師になるという夢なのでお互いが高め合っていける様な関係にしていきたいと思っています。2人の夢というのは、あるのとないのとは大きく異なると思います。大学生活を怠けずに自分に厳しくしていきたいと思っています。そしていつか、お互いの夢が叶ったらその先へ進みたいと思いました。これから何年先になるかはわかりません。しかし彼女は私を待っていてくれるので、私も彼女を信じて待ちたいと思います。これからも2人で頑張っていきたいと思っています。

私も彼女も無事大学に合格することができました。これからはそれぞれの道でたくさんのお会いが待っています。しかし彼女のことは忘れずに、連絡を取り合いたいと思います。

・おわりに

恋愛を通して感じたことがたくさんあります。まず、「好き」と「愛」の違いから。

「好き」は相手をもっと知りたい、自分を受け入れてほしい、その人と一緒にいたいと「意識」した時から始まると思います。例えば、自然と相手のことを目で追っていたり、話す時に緊張したりします。また、片思い中は思い通りにことが進むわけではないので、様々な葛藤が生まれます。私も片思い中は、相手に近付きたい&もっと話したいと思いましたが、緊張から相手を意識してしまい、避けるようになっていました。そして、愛と絶対的に違うのは一方的な要素が少なからず入っているというところだと思います。相手を思う気持ちよりも、付き合いたいという自分自身の気持ちが強いと感じました。好きになったからと言って何かが変わるわけではなく、単なる出来事にすぎません。

「愛」は「お互い」が行為を寄せることで発展します。お互いが相手を必要とし、相手との信頼関係が確率している状態だと思います。この関係になるためには長い期間が必要です。長く付き合うことで、相手を知り、理解へと繋がります。また、「好き」や「恋」と違うのは、お互いに責任が伴うことです。結婚では双方の両親へ、また、子供ができたなら「教育」で責任が伴います。

「恋」では、相手という時ドキドキします。また、人にもよりますが、いくら相手を信じていても嫉妬をしてしまいます。私はすぐ嫉妬してしまうため、慣れるまで大変でした。特に共学だったので、男女が分け隔てなく仲良い状態でした。嫉妬はとても辛く、たくさんのジレンマがあります。

恋愛をしている時に感じたことは、周りの環境の大切さです。特に家族の協力は本当に大切です。私もお互いの両親の協力がなければここまで続くことはなかったと思います。車で送り迎えをしていただいたり、お菓子をいただいたりしました。また、喧嘩をした時は相談に乗っていただいて、考え直すことができました。

愛において恋を忘れないことも大切です。よく「初心を忘れずに」という言葉があります。初めて感じたドキドキ、嫉妬、感謝など一つ一つ忘れてはならないことです。長続きをしているカップルには初心を大切にしている人が多いです。私も初心を大切にしました。一緒にいると少なからず「慣れ」が生まれます。恋愛において「慣れ」は大切であり、危険でもあります。

かの有名なシェイクスピアのこのようなことばがあります。「ほどほどに愛しなさい。長続きする恋はそういう恋だよ。」私は本当にこの通りだと思いました。愛しすぎると雑念が生まれます。愛というものを深く掘り下げていくと本当の愛というものがどんなものなのかを知ることができると思います。しかし、それを知ることは私にはまだ早いと思います。恋はゆっくりでいい。急いでは行けないものだと思います。ゆっくりお互いを尊敬し愛、信頼し合うことで長続きする恋愛になると思います。

また、他にも「恋の始まりは晴れたり曇ったりの4月の様だ」や、「愛は万人に、信頼は少数に。」など、様々な言葉を残しています。とてもユーモアあふれる人だと感じました。また、人それぞれ愛の捉え方が違うと実感しました。シェイクスピアは生きている中で経験した様々な出来事の中で見出した愛というものをわかりやすく大胆に表現していると思います。

私は大学に進学しますが、愛というものがどの様なものかをゆっくりと見つけていきたいと思っています。シェイクスピアの様な表現はできませんが、愛を豊に表現できる人間になりたいと思っています。

次に恋愛は想像以上に時間が必要ということです。

今はスマートフォンなどで簡単に連絡が取れる様になっているため、通話をする必要があると思います。相手との時間はしっかりとメリハリをつけなければ、怠けた人間になります。私はメリハリをしっかりとしていなかったので、テスト期間でも遊んでしまいました。勉強しなければならないことはわかっていたのですが、遊びたい気持ちが勝ってしまいました。

今恋愛をしていて、片思いだったり倦怠期などうまく行っていない人がたくさんいると思います。中には別れるか迷っている人もいると思います。もしそのような人がいたら、まず初心を思い出してください。必ず楽しかった思い出が蘇ってくるはずです。恋人といった場所、過ごした時間、空間全てにおいて大切なはずです。なぜ好きになったのかをもう一度思い出してみてください。

恋愛はとても難しいものだと思います。傷つけあったり、笑いあったり。人間というのはいくら愛し合っても、信頼していても、「他人」です。一個人として接しないといつか限界が来ます。大切に思う気持ちを忘れずにしたいと思います。また、運命も大切です。私はいつも考えていますが、「もしこれがなかったら」「もしあのときこうしていれば」という出来事がたくさんあります。人生は少しの間違いや変化によって180度変わってしまうと思っています。シェイクスピアの言葉にもある通り、「運命は最もふさわしい場所へと魂

を運ぶ」というのは本当だと思います。宿命は変えることができませんが、運命は変えることができると思っています。運命とは「運ぶ命」です。自分自身の運び方によって変えることができるものだと思っています。運命を意識しすぎることはよくありませんが、目の前にあるチャンスをしっかり掴むことが大切です。めんどくさいからという理由で明日へ伸ばしたり、いつもの日常に少しも疑問を持たないことはいけないと思います。特に日常への疑問を持たないことは本当に危険です。こんな話があります。いつも妻が早く起きて子供の世話をする。しかし時々母が疲れて、起きるのが少し遅くなることがある。その時自分は子供の世話をする。このような夫婦がいました。夫はこれを日常だと思い込んでいました。ある日妻が起きてこなかったため、見に行ったら布団に入って寝ていました。夫は少しの疑問も持たずに、「妻が起きてこなかった、だから自分が世話をする」と言っていたのを見たことがあります。一見普通のことを言っている様に思えますが、「起きてこなかった」は妻の体に何らかの変化が起きているかもしれません。もちろんいつも通り「ただ寝ているだけ」の場合もあります。しかし、「いつもと少し違うな。」「具合悪いのかな」など、疑問を持つ必要があると思います。その考えがあるかないかで、いつもの日常が終わってしまうこともあります。

このように人生というのは自分の判断次第で変わってしまうものです。なので自分の行動に責任を持って、目先のことでなく、数分後、数時間後、数日後を考えた行動が大切だと思います。

恋愛からすこし離れましたが、恋愛も同じことです。恋愛において大切なことをまとめると、1 見返りを求めずに相手を信頼すること。2 自分自身を愛せるようになること。3 相手の考えを尊重しつつ自分の考えも尊重すること。3 異性の考えや価値観の違いを理解すること。4 不安に支配されないこと。この4つは私が恋愛の中で経験し、感じたことです。

私の好きな言葉にこんな言葉があります。「魅力」とは、自分の人生に誇りを持って人生を楽しんでいる人。という言葉があります。たしかに誇りをもって生きている人はカッコよく、憧れてしまいます。私も人生に誇りを持てる様な人間になっていきたいと思います。また、時間はお金に変えることができません。なので、一瞬一瞬を大切にしたいと思います。必要のないことは省いて、大切なこと、大切な人との時間を増やしていきたいと思います。

彼女を幸せにする自信はありませんが、後悔させない自信はあります。これからの経験を通して、たくさん成長して自慢の彼氏になれたらいいなと思いました。

私が経験したこの18年間で、たくさん成長できたと思います。相手への気遣いや、異性との接し方、友達との関わり方。私は全てにおいて大切だと思います。無題にした時間はたくさんある様に思えます。しかし、そのひとつひとつが私自身の成長へ繋がっていたと考えれば貴重な18年間だったと思います。これからパイロットを目指して夢を追いかけていきますが、18年間の思い出から、知識を行動へと変えていきたいと思っています。あきらめない気持ちは本当に大切です。また、一つ一つに全力で取り組むことで、自然と周りからの受ける感じや、彼女を大切にしようという気持ちが育まれると思います。

夢を持った若い人たちはたくさんいます。周りの影響に流されないで、自分が本当にしたいことを目指せばいいと思います。どんな夢でもそれに向かって努力する姿は誰かが見えています。